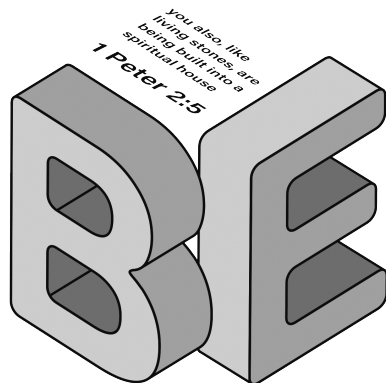


# YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。  
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/10/20(月)

## エレミヤ 21章

●イスラエルの民は、この記事から100年前、アッシリアに包囲された時に主が助けてくださったことと同じようなことが起きないだろうかと期待していた(2)。当時とこの時では、何が違うだろう。

→100年前はヒゼキヤ王、この21章の時代はゼデキヤ王(1)。ヒゼキヤ王は、徹底的にへりくだり、主のみこころを求めていたが、ゼデキヤは人間的な外交努力をしても、主の前にへりくだってはいなかった。

★周りが神様を信じていない状況でも、1人の熱心なへりくだりと祈りにより困難な状況を変える場合がある。神様をまだ信じていない家族や友人のために祈ろう。

2025/10/21(火)

## エレミヤ 22:1-12

●1-5節で「主のことばを聞け」と語られている内容を見よう。ユダ王国が滅びる前に、何度も何度も神様は警告を出していた。それは滅ぼすことが神様が願っていることではなかったからなんだ。ユダの人々は9節で言われるように神様に立ち返ることなく滅びてしまう。

●僕らの未来も、毎日の選択によって決まっていく。小さい選択もあれば大きな選択もある中で、永遠の将来が決まってしまう重大な選択がある。それはイエス様との関係なんだ。今は選べるけれど、いずれ選ぶことの出来ない日が来る。今日という日に、イエス様を本気で選んで歩もう！

2025/10/22(水)

## エレミヤ 22:13-30

●13-19節はエホヤキム王についての預言がなされている。彼はどんなことで非難されているのだろうか。また反対に、父ヨシヤ王はどのような王だっただろうか(15-16)。

●16節「それが、わたしを知っていることではないのか」という言葉を考えよう。イエス様を知っていると言いながら、毎日の行いや態度、ことばにおいて矛盾してしまっているところはないだろうか？

●彼らは平穏であったとき、神様の語りかけを聞かなかった(21節)。自分が本当になすべきことは何だろうか？祈って神様に聞いてみよう！

2025/10/23(木)

## エレミヤ 23:1-24

●『わたしはダビデの何を起こす』と書かれているかな？5節

●『近ければ何、遠ければ何』と書かれているかな？23節

●この箇所は歴代の王と支配者たちへの非難とそこからの回復、言うこと聞かないイスラエルについて書かれているよ。5節のダビデの正しい若枝はイエス様のことだよ。バビロン捕囚からイスラエルは大国に支配されるよ。だけどイエスさまが犠牲になってから当時支配していたローマもキリスト教を信じるようになるんだ。エレミヤの時代でもイエス様のことが預言されてるんだね。普段の生活で神様を遠くに感じることはないかい？あったら、そういう所こそ守ってもらえるように祈ろう！

2025/10/24(金)

## エレミヤ 23:25-40

●32vを読むと、偽預言者たちはどのように民を惑わせていたかな？

●その姿から考えると、偽預言者たちはみことばをどんな風に軽んじていたと思う？

●きみは普段、聖書のみことばを読む時にどんな気持ちで読んでいるかな？神様が愛の神であると同時に裁き主であるように、みことばには優しさと厳しさの両面があることを知る必要があるよ。

2025/10/25(土)

## エレミヤ 24章

今日の箇所はバビロン捕囚で人々が捕まり、バビロンへ移された時に神様が語られたことが書いてあるよ。良いいちじくの意味にもあるように、へりくだった者を主は回復させてくださるし、そうでない者へは滅ぼす結果を与える。

神様は私たちから見ると失敗や敗北と思えることも、御心によって導いてくださる方だね。

7節をもう一度読もう！

・自分の中で神様の前に立ち返る必要があるのはどんな部分かな？

・神様が主であることを知る心が与えられるように祈ろう！

2025/10/26(日)

## エレミヤ 25:1-14

神様に聞き従うことについて考えよう。あなたが聞き従うことが難しい時はどんな時だろうか？

この時エレミヤによって語られた預言は正確に成就する。70年という期間も、紀元前538年にペルシャ王キュロスによってバビロンが滅ぼされた時に成就するんだ。神様が聖書で語っておられることが全てその通りになるなら、僕らはどれだけ真剣に神様のことばを聞く必要があるだろうか？

後回しにせず、今本当に目を向けるべきことを神様から聞こう！イエス様が模範として示された生き方を思い出してそれに倣おう！